



協会情報誌

ふれあい

FUREAI
No. 113
2025 春

公益財団法人 千葉市国際交流協会

Chiba City International Association

千葉市青少年交流事業派遣生募集

次代を担う青少年に、お互いの国の文化・歴史等について理解してもらうため、姉妹都市との青少年交流事業を実施いたします。今年度は、カナダ・ノースバンクーバー市への派遣希望者を募集いたします。



募集に先立ち説明会を行いますので、海外に関心のある方、新たなことに挑戦してみたい方は、ぜひご参加ください。

希望される方は、事前にQRコードまたは電話にて申込の上、必ず派遣希望者本人が説明会に参加してください。

青少年交流派遣説明会

日時 令和7年4月13日(日)
14:00~15:00

会場 千葉市国際交流プラザ(国際交流協会)
※地図は裏表紙参照

申込 令和7年4月1日(火)~
4月10日(木)の9:00~17:00に
右のQRコード
(説明会申込フォーム)
または電話から
TEL 043-306-1034
※日曜日除く



説明会申込フォーム

備考 本人と保護者を含め
家族の同伴は3人まで

渡航先	カナダ・ノースバンクーバー市
所在地	カナダ・ブリティッシュコロンビア州
人数	4人
対象	市内在住の高校生
滞在期間(予定)	令和7年8月4日(月)~8月19日(火)
費用(予定)	自己負担額 約28万円
主な資格	<ul style="list-style-type: none"> ●過去2年間以内に6ヶ月以上の海外渡航経験がないこと。 ●過去に市もしくは協会が実施した国際交流派遣事業に参加したことがないこと。 ●健康で約2週間の海外生活に耐えられること。 ●翌夏に来日する派遣生のホームステイを受け入れられること。 ●本人が必ず説明会に参加すること。

※記載の内容は、都合により変更となる場合があります。

国際交流・ 国際協力団体の 皆さまへ

千葉市国際交流協会では、国際交流・国際協力に関する団体の活動に対し、経費の一部を助成します。詳細は、3ページをご覧ください。

..... 目次

- P1 青少年交流事業 派遣生募集
- P2~3 千葉市外国人留学生交流員事業
ちば市国際ふれあいフェスティバル
国際交流・国際協力団体活動助成申請団体募集
- P4 令和6年度下半期事業報告
交流サロン/
コミュニティ通訳・翻訳サポーター事業/
国際交流ボランティア・リーダー会議
- P5 日本語学習支援 各クラスのご案内
- P6 語学講座のご案内
生活相談・外国人法律相談・賛助会員募集

協会HP



千葉市外国人留学生交流員事業 ～町内自治会行事への参加・協働を通して～

今年度から初めて留学生交流員が町内自治会行事に参加しました。伝統行事や防災啓発行事などへの参加・協働を通して、日本の地域社会の仕組みを学びながら、地域行事の活性化、そして自治会や地域住民との交流を通じた相互理解の促進を図りました。地域の皆様に温かく受け入れていただき、大学ではできない経験や交流を通して沢山の気づきと学びを得ることができました。今回は第36地区の行事参加について報告します。



「留学生が我が町にやって来た！」

千葉市第36地区町内自治会 コミュニティ委員会 副会長 山中 壽江 氏(写真左)

第36地区の様々な行事に留学生交流員が参加しました。7月27日の盆踊り大会に始まり、9月6日の高齢者への買い物支援をする金曜ふれあい市では、売り手の体験やお米などの重いものを自宅まで運ぶお手伝いを積極的にしてくれました。また、10月27日の秋季防火・防災訓練では、初めての心肺蘇生法やAED体験で、緊張しながらも真剣に取り組んでいました。1月19日の餅つき大会と前日の豚汁作りでは、住民の皆さんと一体となって活動している姿が印象的でした。母国ではこのような行事・習慣はなく、どれも珍しく、興味をもって、地域の皆さんとの交流を楽しんでいるようでした。

今回の交流員の参加は、留学生のみならず、地域の人たちにとっても良い経験になったと思います。これからの日本は、海外からの移住者が増えてくることでしょう。相互の文化を理解しながら共生できる社会を構築するために、このような事業が、今後、ますます大切になるでしょう。さらに発展、継続していくよう期待します。



千葉大学 チャンサーラック・プンナット (タイ出身 写真中央)

金曜ふれあい市で屋台の設営や販売のお手伝いをした時、やりとりの中で自分の日本語の語彙の少なさを痛感しましたが、高齢者の買い物のお手伝いをした時に、コミュニケーションの障壁があったにもかかわらず、深いつながりを感じ、もっと伝えたいと強く思いました。コミュニケーションは言葉を超えたものであり、身振り、意図、そして真の人間の温かさが大切だということ学びました。日本語で話しかけることについて少し自信もつき、行事4回目となる豚汁作りに参加した時には、メンバーの一員であることを実感することができました。住んでいても知ることが無かった自治会の活動に参加できたこと、何より運営メンバーの皆さんが仲間として温かく受け入れて下さったことがとても嬉しかったです。



神田外語大学 キム スハン (韓国出身 写真中央)

日本の祭、その特有の踊りに見覚えがありましたが、住民の方と一緒に踊ったのは初めてでした。外国人として現地の住民と交流し、学校では見ることも聞くこともできない初めてで充実した「留学」らしい経験ができたと思います。特に覚えていることが、焼きそばの出店のお手伝いを一緒にした住民の方と、韓国と日本の社会の話など、学校の同年輩とは交わすことのできない深い話ができただけです。普段接する機会のない年齢層の見解がのぞけました。そのお話が大きな刺激となり、もっと日本について知りたくなりました。

また、韓国と比べて主催関係者と参加住民の関係が緊密であること、つまり日本では地域で伝統が守られ引き継がれていることにより、誰もが何かの行事に関係し、伝統の大切さを理解している人が多いので、皆が熱意を持って取り組んでいるのだと思います。そう考えると、少子高齢化によって人数は減るかもしれませんが、日本の伝統の継承が絶たれることはないのかもしれない。盆踊りを通じて様々な年齢層の方々に会えることの大事さを実感しました。今後も同様の経験をたく積極的に参加していきたいです。



千葉大学 シン エイエ (中国出身 写真左)

防災訓練では、中学・高校時代の母国での防災訓練を思い出、とても懐かしい気持ちになりました。特に、消防士の方が倒れている人を発見した際の対応を説明してくださった場面では、その真剣さに胸が熱くなりました。地域の皆さんが互いに助け合い、防災意識を高めている様子を見て、とても安心感を覚え、地域の防災意識の高さに感銘を受けました。また、多くの実践的な知識を学びました。例えば、緊急時には誰かを指名して119番通報を依頼する重要性や、新聞紙を使って簡易スリッパを作り、足を保護する方法などです。

留学生交流員としての活動がなければ、こうした地域の行事があること自体を知らなかったと思います。今回の活動を通じて、地域の皆さんとの交流の大切さを実感しました。今後も積極的に参加し、地域の活性化に貢献したいと思っています。



敬愛大学 サジャーニ ディルハーラー (スリランカ 写真左)

私にとって盆踊りは初めての体験でした。たくさんの方との新しい出会いがあり、住民の皆さんもとても優しく、特に年配の皆さんがよく話しかけてくれて、日本の祭りや文化について教えてもらいました。この祭りに参加して良かったと思いました。淑徳大学の学生の皆さんとも知り合い、一緒に福引きの手伝いをしたときも、暑くても一緒に頑張ることができました。私たちを歓迎してくれた皆さんに、スリランカのことを知ってほしいですし、日本のことももっと知りたいです。自治会行事に参加して、その一員になれたこと、とても嬉しく思っています。



ちば市国際ふれあいフェスティバル2025

主催: ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会

事務局: 公益財団法人千葉市国際交流協会

令和7年2月9日(日)、千葉市役所1階市民ヴォイドにて「ちば市国際ふれあいフェスティバル2025」を開催しました。本イベントは、千葉市内で活動する国際交流・国際協力16団体が協力して実施。各団体による活動紹介やバザー、国際色豊かなステージパフォーマンス、キッチンカーによる世界の料理コーナーが展開され、幅広い世代の来場者で賑わいました。ステージでは初めて千葉経済大学附属高等学校バントワラズ部の皆さんが華麗な演技で、フェスティバルのオープニングを飾ってくれました。また、千葉モードビジネス専門学校留学生がネパールの伝統的なダンスを披露してくださいました。なお、バザーの売上金の一部と来場者の皆様からいただきました寄付金は、能登半島救済支援募金として寄付いたしました。皆様、ご支援、誠にありがとうございました。



国際交流・国際協力団体活動助成申請団体募集

国際交流協会では、千葉市の多文化共生のまちづくりに寄与するとともに、国際交流・国際協力活動の促進を図ることを目的として、団体の自主的な活動に対し、経費の一部を助成します。

対象事業 令和8年3月9日までに、団体が自主的に実施する次のいずれかの事業

- A事業** ①外国人市民支援事業(外国にルーツをもつ方への日本語学習支援に関する事業)
- B事業** ①外国人市民支援事業(日本語学習支援以外の事業) ②日本人市民の多文化理解や外国人市民の日本文化理解を促進する事業 ③国際協力・支援事業 ④姉妹・友好都市をはじめとした国際友好親善を促進する事業

助成金額 **A事業** **A-1** 主に18歳以下の児童生徒を対象とした日本語教室を運営する団体 最高32万円
内訳:①20万円まで:活動日毎のボランティアの人数×活動日数×500円=助成金額
②12万円まで:会場の使用料・賃借料

A-2 大人のみ対象とした日本語教室を運営する団体
最高10万円:活動日毎のボランティアの人数×活動日数×500円=助成金額

B事業 最高10万円:助成対象経費の2分の1以内

注意: 1団体につき年度内1件かつ、A-1・A-2・B事業の内1つのみの申請とします。助成団体・金額は、審査委員会で決定します。

申込 5月8日(木)～5月22日(木)17:00必着、申請書(国際交流協会ホームページからダウンロード、窓口でも配布)を提出してください。対象団体、申請方法など詳しいことは、5月1日以降に当協会のホームページをご覧ください。

令和6年度 下半期事業報告

ウクライナの家庭料理講座 交流サロン(都賀公民館共催)

(実施日)令和7年1月26日(日)10:00-14:00(会場)都賀公民館

講師はウクライナ出身のイサゴジヤナさん、ウクライナの家庭料理“サリヤンカ”ときゅうりをメインとした“オリジナルサラダ”、じゃがいものパンケーキの3種類の料理の作り方を教えて頂きました。サリヤンカは、肉のだしとピクルスが味の決め手となる、寒い冬にはぴったりの温かいスープです。薄く切ったきゅうりを並べて大輪の花のようなサラダが完成すると、その美しさに参加者から歓声があがりました。アットホームな雰囲気の中、受講者は初めてのウクライナ料理作りを楽しみながら、美味しくいただくことができました。



オリジナルサラダ



講師のジヤナさん

コミュニティ通訳・翻訳サポーター事業

■認定者数:総計41人 14言語(累計202人 26言語)

■育成講座開催:総計7回(養成講座・分野別(学校・医療)養成講座)

今年度、新たに認定された大学生の川上さんに意気込みと今後の目標をお聞きました。また、昨年度に認定されたフィリピン出身の松田さんからも、後輩へのアドバイスをいただきました。

教えて!先輩



令和7年度
認定コミュニティ
通訳サポーター

川上さん
(大学生)

私の母はフィリピン出身で、日常生活の中で言葉の壁により困難な状況に置かれる姿を間近で見ました。母国においても不安になる子育てや医療について、日本語で手続きをとらなければならない、そのような時に言語面でサポートしてくれる人がいたら、どれだけ心が軽くなるだろうと常々思っていました。この活動に参加することで、様々な背景を持つ外国人住民が直面する現実を知り、その手助けをしながら、今後の多文化共生社会推進のために私には何ができるのかを考えていきたいと思っています。AIの技術は急速に発展していますが、心情を読み取り、人に寄り添うことはできません。不安を抱えたまま、無機質なAI片手に挑むより、傍らに人がいてくれることで、ずっと気持ちが楽になります。また、言語面をサポートすることで、「難しそうだけれど、できるのだ」という達成感や将来の希望など、精神的な面でも「安心感を与えられる」サポーターになりたいと思います。ぜひ、アドバイスをお願いします。

令和5年度認定
コミュニティ通訳
サポーター



松田さん
(日本帰化 フィリピン出身)

約30年前に来日した当初は、自分自身も言葉の壁に悩んでいましたが、日本語を習得してからは通訳として多くの経験を積んできました。通訳サポーターとして活動する中で最も嬉しいことは、通訳対象者が心を開いて本音で話しているのが分かることです。ただでさえ不安な外国人は心を閉ざしがちで、正しい選択ができなくなることが少なからずあります。不安を抱える相手に対して安心感を与えられる通訳とは、相手にとって最も分かりやすい表現を選び、易しい言葉で、そして穏やかな表情で「伝える」ことができる人だと思います。以前、介護の仕事をしていた時に高齢の患者さんから学んだこと、それは不安を抱えている人は、人の負の感情に敏感だということです。だから言語以外でその人が発するメッセージを鋭く捉え、その人に合った言葉選びと表情で接することが大切だと実感しています。そして、通訳に依存させるのではなく、できることは自分でさせて少しずつでも自立に向け自信を持てるよう寄り添う、そう心がければ良いのではないのでしょうか。私もまだまだ勉強中です。お互いに頑張りましょう。

一緒に頑張りましょう!

国際交流ボランティア・リーダー会議

○リーダー会議開催実績 6月8日、9月7日、2月15日

通訳ボランティア・スキルアップ受講者から成る自主学習グループのグループリーダーが参加し、各団体の活動について報告、情報を共有しました。また、今年度は新たに、各グループの通訳事例の共有と研究に取り組みました。

講座のご案内

1. 日本語クラスのご紹介

外国人市民等の日本語習得を促進するため、各種日本語クラスを開催します。

(対象:千葉市在住・在勤・在学)

日本語教師によるクラスレッスンや日本語交流員と1対1で日本語を学習するものまで様々あります。

協会のクラスに参加する場合、まず日本語理解度チェックを受けてください。(要予約)

日本語教育専門のコーディネーターが最適なクラスを提案します。



日本語のレベル	学習頻度等	クラス名/料金/内容	詳細HP
全く日本語が 分からない人～ 中級 (A1～B1レベル)	週1回(対面) (2時間×全12回)	グループ学習クラス / 4,800円 教師や日本語交流員がサポートしながら自習や協働学習をするクラスです。 入門の人、初級の人、カタカナや漢字の読み書きを学習する人、会話の練習をする人、参加者に応じたグループに分かれて自律学習をします。	
初級(前半) ひらがな、カタカナ、 数字や簡単な挨拶が 分かる人向け(A1)	週2回(対面) (2時間×全30回)	初級クラス1 / 12,000円 日本語の基礎的な文の作り方や語彙・表現を習得しながら、身近なテーマの会話や文章の意味がわかり、自分のことが表現できるように学びます。 教材:「わたしを伝える日本語 1」 ※千葉市国際交流協会オリジナル教材	
初級～ひらがな、 カタカナ、数字や 簡単な挨拶が分かる 人向け(A1～A2)	いつでも自分のペースで (オンライン・対面) (6カ月間)	オンデマンド日本語学習プログラム 「社会生活に役立つ 千葉市日本語学習プログラム」 / 2,000円(スクーリング代) eラーニングとスクーリングで日本語学習をします。	
初級(後半) 初級クラス1が 終わった人向け (A1～A2)	週2回(対面) (2時間×全20回)	初級クラス2 / 8,000円 初級クラス1に引き続き、身近なテーマの会話や文章の意味がわかり、自分のことが言えるように学びます。初級後半の文法も学びます。日本語を使って実践的な活動もします。 教材:「わたしを伝える日本語 2」 ※千葉市国際交流協会オリジナル教材	
初級終了～中級 (A1～B1)	年に12回 (オンライン) (1回1時間)	オンライン日本語交流クラス / 800円(4回) 日本語コミュニケーションの力をつけます。	
	週1回(対面・オンライン) (1～2時間/回、 3カ月間)	1対1日本語活動 / 事務手数料として500円 日本語交流員と1対1で、日本語で会話をして、日常会話や、日本での生活に必要な表現、情報などを学びます。	

※上記表中のレベル(A1等)は、令和3年に文化庁が「日本語教育の参照枠」として全体的な尺度で日本語能力の熟達度を示したものです。

コーディネーター相談「日本語理解度チェック」予約方法

日本語クラス参加を希望する人と面談しながら、一人一人に合った日本語クラス等をご紹介します。

QRコードと協会ホームページから予約できます。

予約せずに協会窓口へお越しいただいた場合はコーディネーター不在等で対応できない場合がありますので予約をお勧めします。

QR



HPから

TOPページ>「日本語学習」>「協会で日本語学習を始める」>
「日本語学習をはじめするには」>
ページ内の「日本語理解度チェックを予約する」から予約

問合せ先

メール(nihongo@ccia-chiba.or.jp) / 電話・協会窓口(裏表紙参照)

2. 日本語交流つなぎて講座

千葉市は多様な言語・文化を背景にもつ市民同士がともに暮らし、ともにまなぶ多文化共生の地域づくりを推進しています。こうした地域づくりの担い手をめざす方が、多文化共生や外国人市民との日本語交流についての基礎を学びます。(日本語教授法の講座ではありません。)

協会の「1対1日本語活動」や協会の日本語クラス内交流活動に興味のある方は、こちらの講座修了が必須です。是非ご参加ください。なお、令和3年度までに実施した「新基本講座基礎編・実践編」、「日本語学習支援者講座」を修了された方は受講不要です。

どのようなことを学ぶのか、講座概要を動画(YouTube)で公開していますのでご覧ください。

内 容(全5回で学びます)

「つなぎて」とは

背景や価値観の異なる人々と、ともにまなび、ともにくらすために、どのような活動ができるでしょうか。千葉市の外国人市民の状況や「つなぎて」の役割について学びます。

外国人の人と話してみよう

まず、生活上の身近なテーマで外国人市民と話します。その後、内容をふりかえりながら、対話の意義や課題について考えます。

多文化共生における「文化」とは

文化がちがうとはどういうことでしょうか。「つなぎて」として活動するにあたり、「文化のちがい」や「ことばと文化の関係」について考えます。

やさしい日本語「聴く」と「待つ」

日本語に慣れない人々とコミュニケーションをとるとき、どんなことが役に立つでしょうか。第2回での体験をもとに、コミュニケーション上の工夫や姿勢について学びます。

「つなぎて」としての実践

地域の様々な場で、一人一人が「つなぎて」として何ができるでしょうか。本講座で学んだことをもとに、具体的に考えます。最後に講座全体をふりかえり、今後の実践につなげます。

講座紹介ページ

概要動画はこちらからアクセスしてください



受講料

3,000円(賛助会員価格の設定はございません)

申込方法

講座開始の約2カ月前から申込受付開始予定。参加者募集について協会HPに掲載します。

注意事項

お子様連れの受講はご遠慮ください。全5回講座出席が修了要件です。

講座のご案内

講座は全て千葉市国際交流協会(プラザ)が会場です。※下記地図をご覧ください。

語学サロン

講座名	日時	定員	内容/申込みアドレス等	受講料	応募締切
初級 英語サロン 全6回	6/4～7/16の水曜日 (6/25はお休み)14:00～16:00 予備日:7/23	20人 程度	簡単な単語を使って日常生活で使える表現方法を学びます。 アイルランドの文化紹介もあります。 講師:ケイティ・セクストン氏(千葉市国際交流員)	6,000円 賛助会員は 3,500円	5/19(月) 17時必着
はじめての ベトナム語 全5回	6/6～7/11の金曜日 (6/27はお休み)10:00～12:00 予備日:7/18	15人 程度	文字から始めて、発音、声調、文法、そしてすぐに使える日常表現を覚えましょう!ベトナムの文化紹介もあります。 講師:グエン・ゴック・ハン氏(協会相談員)	5,000円 賛助会員は 2,500円	結果通知は 5/21(水) 以降

応募資格 当協会賛助会員または協会ボランティアに登録している人(新たに賛助会員加入またはボランティア登録する方も応募できます)

申込方法 Eメールにてお申し込みください。申込時には、①講座名 ②氏名(ふりがな) ③住所と郵便番号 ④TEL ⑤賛助会員の方は会員番号 ⑥語学サロンを知ったきっかけ、を明記して上記申込先アドレス宛にお申し込みください。

申込先アドレス gogaku@ccia-chiba.or.jp (※申し込み先アドレスは両講座共通です。)

注意事項 応募多数の場合は、抽選となります。

外国人生活相談窓口

Daily Living Consultation Desk/生活咨询窗口/외국인 시민을 위한 생활 상담 창구/
Ventanilla de Consultas para Residentes Extranjeros/
Tư vấn cuộc sống cho người nước ngoài sống tại thành phố Chiba/
Консультаційний центр для іноземних громадян

窓口・電話・E-mail・LINEでくらしの相談を受け付けています。

対応言語

日本語(やさしい日本語)・英語・中国語・
韓国語・スペイン語・ベトナム語・ウクライナ語



外国人
生活相談案内



LINE
外国人相談

*各言語の対応時間については、右のQRコードからご覧いただけます。
*LINEでは、ご自身の個人情報を送信しないでください。

外国人のための 無料法律相談



日常生活で起きる法的なトラブルについて、
弁護士に無料で相談できます。
通訳が必要な方は、事前の予約が必要です。



法律相談日程表

申込方法 電話または窓口 場所 千葉市国際交流プラザ

編集・発行

公益財団法人 千葉市国際交流協会

〒260-0013
千葉市中央区中央3-3-1
フジモト第一生命ビルディング2階

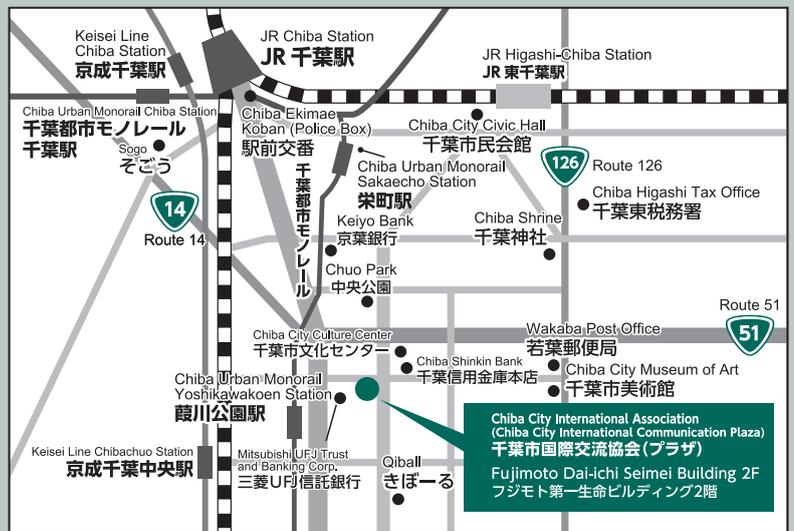
TEL 043-306-1034
FAX 043-306-1042
E-mail ccia@ccia-chiba.or.jp



HP



facebook



賛助会員募集

会費

学生・外国人会員:1人 1,000円より/半年
個人会員:1人 2,000円より/年
団体・法人会員:1団体・法人 10,000円より/年

特典

①協会情報誌「ふれあい」の送付
②協会主催有料講座の受講料割引
★団体・法人会員の場合、5名様まで②の割引対象となります。

申込・お支払い

ホームページからお申込みいただけます。
また、便利なクレジットカードでのお支払いもできるようになりました。
【賛助会員年会費クレジットカード支払いについて】
これまでは、お支払方法といたしまして、銀行振込・振込用紙での支払・
窓口での支払からお選びいただいておりましたが、令和6年8月より便利
にご利用いただけるクレジットカード決済を導入いたしました。ぜひご
活用ください。(決済可能クレジットカード:VISA, Mater, AMEX, JCB)



賛助会員申込
(個人)

広告募集 協会情報誌ふれあいに 広告を出しませんか?

次号は令和7年7月発行予定!
年3回各回3,000部発行しています。

費用 1単位5,000円(サイズ縦45mm×横85mm)

配布先例 千葉市国際交流協会賛助会員、区役所、
コミュニティセンター、公民館、千葉市美術館、
千葉市生涯学習センター、図書館ほか
千葉市国際交流協会のホームページ及び
FACEBOOKにも掲載します。